

10年間の悲願がついに届いた！ 体育館エアコン実現へ



市の計画の重点事業に！ 体育館エアコン設置

昨年まで、市は体育館のエアコン設置を実施しない方針でしたが、ついに市長が9月議会で、財政の見直しをつけて、来年度からの総合計画に、小中学校体育館への一斉整備を重要事業とすると答弁しました。

故・中川かつとし市議(写真)は、いち早く2015年から、避難所にもなる「体育館のエアコン設置」を議会で取り上げ、何年も要望し続けました。私たち徳本・根本も、国の交付金を活用し、断熱とエアコン設置するよう要望してきました。議会の成果として悲願が実現し、非常にうれしいです。

◆よかった点

若者定住支援や合併浄化槽の増加のほか、日本共産党市議団が2025年度予算に賛成した理由である、中学生の給食無償化、福祉タクシー券増加、被爆地への中学生の派遣、学校の草刈り委託など、教育や福祉サービスを充実させる準備を行ったこと。高い国保税の値上げを見送ったこと。

◆改善すべき点

- ・部活動の地域展開(民間委託)→国に従い深く検討せず開始し、部活動サポーターとの連携を生かさず。子ども達の移動の危険等、今も課題の解決策なし
- ・不登校の子ども達が通う「ひだまり館」→全小中学校で取っているアンケートを行わず。子ども達のアイデアを聞き、通いたくなる工夫をするべき
- ・給食センターの食残しの多さ→少し減るも、4千人の要望を無視して自校式給食の廃止を決めたのに、自校式の食育の活用、残菜軽減の目標すらなし
- ・バスと北総線→バスの利便性向上を最優先すべき。屋根やベンチは駅前以外にも設置を。市長が北総線の株主総会で値下げを要求するだけでは不十分。近隣市や市民運動と協力して交渉を。西白井駅の橋に、屋根の設置を！
- ・その他、市職員の残業の多さ、ごみ減量があまり進んでいないことなど

2024(令和6)年度決算に反対



3つとも〈被害者への補償を求める訴え〉なのに結果は真逆！本当に公正な判断ですか？

私たちの意見書(被爆者援護法の改正)の審議では、本質から外れた質問、関係のない質問、事実を理解していない反対討論が行われた上に、否決されました。被爆者の方々に見せられないような審議内容と結果で、非常に残念です。

発議1 有機フッ素化合物(PFAS)対策推進を求める意見書

国に、PFASの調査や原因究明、対策への支援や情報提供を求める内容で、全会一致で可決。残念だったのは、私たちは、最も大事な「汚染の除去」も要望に加えてはどうかと質問しましたが、提案者の長谷川市議は入れないとの一点張り、取り入れられなかったことです。

発議2 「原子爆弾被爆者に対する援護法」改正を求める意見書

ノーベル平和賞を受賞した「日本原水爆被害者団体協議会(被団協)」の想いを尊重し、請願内容を変えずに提案しました。再び被爆者を出さないため、国に、すべての被爆者・死没者・遺族に謝罪と償いを求める内容です。広島・長崎に関わる議員まで反対したのは、驚きました。

発議3 「建設アスベスト給付金法」改正を求める意見書

建設アスベスト被害者の全面的な救済を図るために、給付金法の改正を早期に行うよう要望する内容。国に加え、アスベスト建材製造企業への拠出を求め、給付金の増額、支給対象からもれていた屋外労働者への補償などを求めています。請願者・千葉土建の長年の活動が実を結び、本当によかったです。

原爆 意見書の審議映像



各議員の質問や討論をぜひご覧ください



日本共産党



市民の声 (荒井=立憲民主党)



〈新会派〉希望の扉 (久保田=参政党)



しろうい令和 (自民党)



会派公明党



New Wave しろうい

有機フッ素化合物(PFAS)対策推進を求める意見書

徳本	根本	柴田	小田川	荒井	岩田	田中	広沢	石田	久保田	長谷川	古澤	石井	武藤	石原	平田
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

「原爆被爆者に対する援護法」改正を求める意見書

徳本	根本	柴田	小田川	荒井	岩田	田中	広沢	石田	久保田	長谷川	古澤	石井	武藤	石原	平田
○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

「アスベスト被害者の給付金法」改正を求める意見書

徳本	根本	柴田	小田川	荒井	岩田	田中	広沢	石田	久保田	長谷川	古澤	石井	武藤	石原	平田
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



9月9日
根本あつ子
一般質問



録画映像
見てね!



9月12日
とくもとみつか
徳本光香
一般質問



1. 就学援助制度の拡充もとめる

憲法には「義務教育は無償」とあります。本来、すべての子が、学校生活に必要な就学費用を支給され、無料で学校生活を送れるようにするべきです。

私は、低所得世帯への「就学援助」は、物価高に見合う額に上げるべきだと思います。市に対し、国の就学援助の対象なのに市で支給していない「クラブ活動費(部活費)、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代」の支給を要望しました。

2. 桜台のデータセンター(DC)建設問題

市民の生活・安全より事業者の利益・税収を優先

市内2か所のDCのうち、桜台DCについて質問しました。市は最初、車両出入口の数や幅について、建設業者に適切な指導をしましたが、4回の協議を経て、結果的に、市民の安全よりも事業者の都合に合わせて指導内容を変え、協議書を結びました。また、重要な協議の記録も取っていないと答えたのは、信じられません。

北側市道では死亡事故も起きており、車両が出入りすれば交通量が増え歩行者にも危険です。市は、道路法や県・市の「車両出入口設置基準」通り「1敷地に出入口は1か所」と指導。しかし事業者が、フェンスで敷地を3つに区切るから「出入口3か所」と主張すると、許可してしまいました。



市は「歩行者の利便第一」の原則を守り、出入口を許可せず、国道側の出入口使用を指導すればよかったはずですが。

住民自身の粘り強い交渉で 事業者が譲歩予定

しかし、地元住民の粘り強い要求と交渉の末、車両出入口は2か所に減らされる見込みです。車両出入口の切り下げ幅についても、市は事業者に6m幅と指導後、事業者の求める大型トラック用の9m幅を認可しましたが、これも、市民の交渉の結果、1か所は6m幅に変更される見込みです。

すでにデータセンター建設の被害が発生

桜台ではすでに、DCの地盤作りの工事が行われ、すでに近隣住民から、「砂ぼこりでベランダに洗濯物を干せない」「振動や音がうるさく、自宅での仕事ができない。寝る時も揺れている気がする」などの被害が報告されています。開発を認めた市として、工事中・完成後もずっと、住環境と安全について事業者に指導し対応を行う責任があります。

1. ナッシー号の日祝運行・北総線値下げを

Q 市民の根強い要望として、①コミュニティバス・ナッシー号の日曜・祝日運行、②ナッシー号のルートとダイヤの利便性向上、③市のバス以外との連携、④北総線の高い普通運賃の値下げがあります。実現を目指しますか？

A バスの日曜・祝日運行は調査や検証が必要です。他は、期間や取り組み方は様々ですが、実現を目指します。

2. 高額な公共工事に多くの疑問

地方自治法には「最小の経費で最大の効果を上げる」とあり、ムダな支出の削減は重要です。市民から高額な公共工事の根拠や入札への疑問が寄せられ、学校の改修工事について質問しましたが、聞いたことに答えない答弁が多く、怒りがわきました。疑問を明らかにするため、今後も調査します。



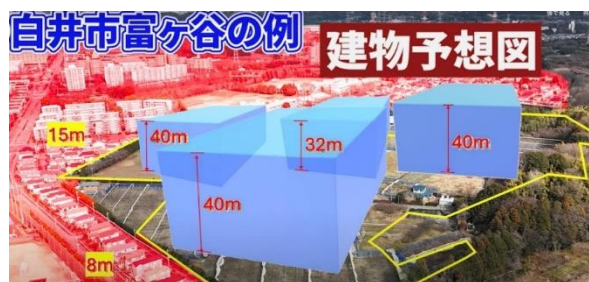
学校改修工事の疑問いろいろ

なぜ異常に高い落札率(99~100%)の入札がある？なぜ工事チェック(工事監理)費に5千8百万もかかる？なぜ桜台中の厨房を会議室にする工事費に1億3千万円!?など



3. 市民生活と安全置き去りのデータセンター

市は7月の都市計画審議会で、富ヶ谷地区に高さ40mまでのデータセンター(DC)建設を可能にする地区計画を提案しました。建築と都市計画の専門家2名は反対しましたが、5名の市議(伊藤・広沢・平田・石田・久保田市議)など他全員は意見を言わずに賛成しました。傍聴していた地元の住民などから、怒りや失望の声が聞かれました。



桜台・オーサムガーデン・富ヶ谷住民有志のインターネット署名用動画より

データセンターを誘致する市に強く要望!

- ◆ 都市計画審議会は、市民合意のない審議の仕方は改善を
- ◆ 市長は重要な審議は途中退席せず全部見届けるべき
- ◆ 市は、事業者が誠実な説明・対応をするよう指導を
- ◆ 事業者と協議した議事録は、必ず取るようにすべき
- ◆ 富ヶ谷DCの工事では、南山から白井駅前の通学路区間をトラックが通る予定。通行制限や安全対策は必須
- ◆ 住宅地近くのデータセンター建設を禁止する条例を!

毎月第3土曜は 無料の法律生活相談

〈要予約〉おもて面下の徳本・根本の連絡先にお電話下さい
毎月14~16時/1組30分/弁護士が相談にのります

第605回 11/15(土) 西白井複合センター研修室

第606回 12/20(土) 桜台センター(予定)



みつか&あつ子の おしゃべり議会報告会

11/2(日) 気軽に話しに来て下さい♪

10時 西白井複合センター研修室

13時半 白井駅前センター研修室2

16時 桜台センター研修室

